KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

UD-A55
RD-UDA55

お使いになる前に編

操作編は反対からお読みください。

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

お客様の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

この取扱説明書は2機種を共用しています。
RD-UDA55にはスピーカーは付属していません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

USB D.AUDIO LINK

B60-5654-10 02 MA (J) BT 0607

もくじ（お使いになる前に編）

安全により快適にご使用いただけますよう、
この「お使いになる前に編」をお読みのうえ、
操作編をお読みください。

このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前には必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作編と重複する内容もあります）

⚠警告

交流100ボルトの電圧で使用する

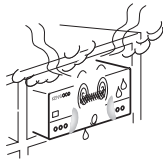
この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

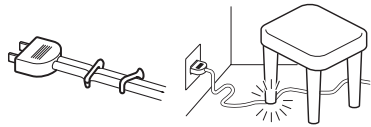
通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

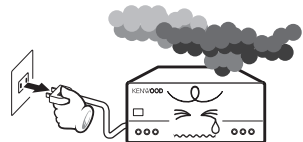
水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

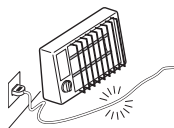
電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

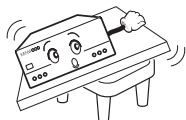
機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また､電源プラグの刃に触れると､感電の原因となることがあります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは､電源スイッチを切り､電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く｡感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速回転しますので､飛び散って、けがの原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

電池の取り扱いに注意する

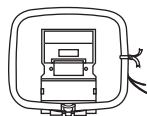
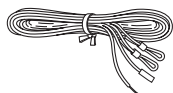
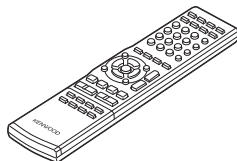
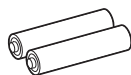
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"－"の向き）に注意し､表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは､水でよく洗い流してください。

付属品/関連商品

付属品がそろっていることを確認してください

AM ループアンテナ
（1個）

FM室内アンテナ
（1本）

リモコン
（RC-F0508：1個）

リモコン用乾電池
（単4形：2本）

スピーカーコード
（2m：2本 ）

UD-A55のみ
スピーカーに同梱

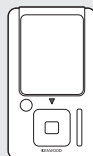
関連商品

2006年9月現在

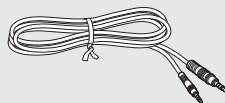
USB端子へ接続して
録音・再生できます

ケンウッド製
デジタルメモリ
オーディオプレーヤー

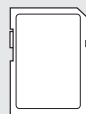
Cシリーズ
M2GC7/M1GC7
M512C5

D.AUDIO IN端子へ
接続して再生できます

ケンウッド製
デジタルHDD
オーディオプレーヤー

HD20GA7
HD30GA9
HD30GB9

接続したケンウッド製
デジタルオーディオプ
レーヤーを本機で操作
できます

ケンウッド製デジタル
オーディオプレーヤー
専用ケーブル PNC-150

メモリカードスロット
へ差し込んで曲を録り
貯めます

メモリカード
（SDカード）

使用可能なメモリカード
の情報は当社ホームペー
ジをご覧ください。
http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

設置するときは

本機を設置するときは、下記のように設置してください。

設置方法

- 左右それぞれのスピーカーを正しく置いてください。間違って置くと左右の音が正常に聞こえません。
- 本体部とスピーカーの距離を1cm以上離して置いてください。
- 設置する場所は必ず平らで安定した場所に置いてください。台などの上に置く場合は、必ず台の強度を確認してから置いてください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

本体部

左側スピーカー

右側スピーカー

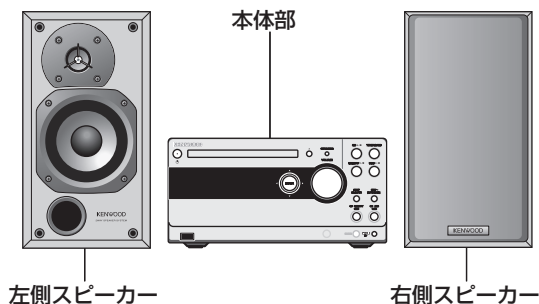
RD-UDA55には スピーカーは付属していません。

⚠ 注意

機器を設置するときは、下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。

上面：50cm以上　背面：10cm以上

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。
完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

よりよい音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの置き方によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。また、音の反射をできるだけ少なくする。
（例えば、スピーカーを左右とも壁から離し、ガラス窓などには厚手のカーテンなどを掛ける。）
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さに設置する。

接続のしかた

本機と付属品の接続

RD-UDA55にはスピーカーは付属していません。

すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

マイコンの誤作動について

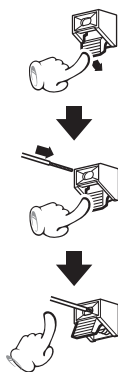
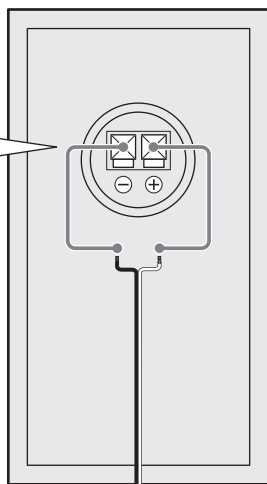
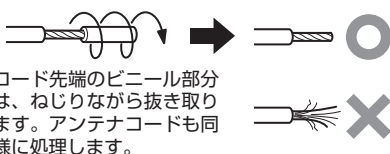
正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合は「操作編」71ページ参照。

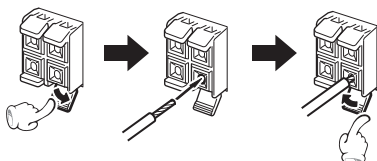
FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナで、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続した後は、簡易アンテナは取り外してください。

①アンテナ端子に接続する。

②受信状態のよい位置をさがす。

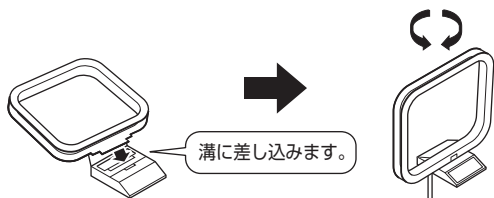
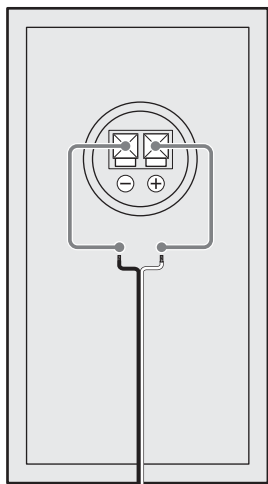
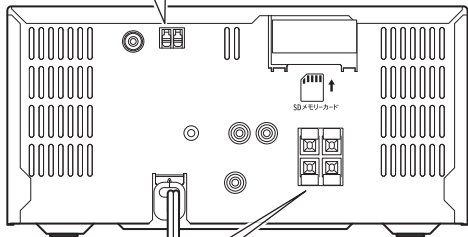
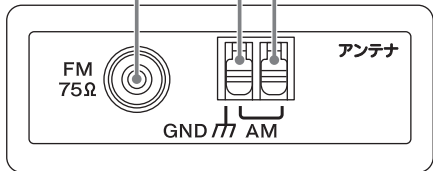
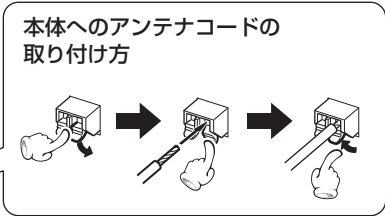
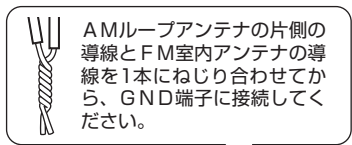
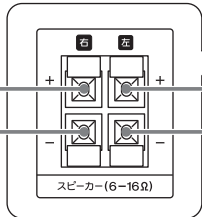
③固定する。

LS-UDA77 R
（右側スピーカー）

スピーカーコード先端の処理

コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。アンテナコードも同様に処理します。

本体へのスピーカーコードの取り付け方

透明に白のライン ⊕

⊖

スピーカーコード接続の注意

スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。

極性＋と－を間違えて接続すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。

AMループアンテナ
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。
溝に差し込みます。
ＡＭループアンテナの片側の導線とＦＭ室内アンテナの導線を1本にねじり合わせてから、ＧＮＤ端子に接続してください。
本体へのアンテナコードの取り付け方
FM 75Ω
アンテナ
GND
AM
SDメモリーカード
右
左
スピーカー(6–16Ω)
LS-UDA77 L
(左側スピーカー)
透明に白のライン
電源コード
電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
電源コード
AC100V、50/60Hzの
電源コンセントへ

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

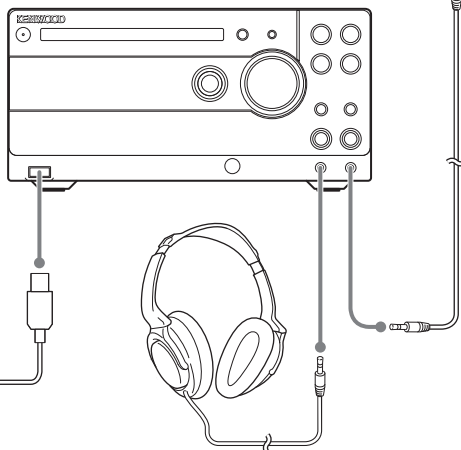
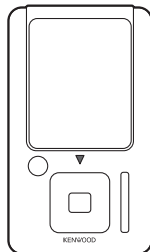
接続上のご注意

接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

D.AUDIO IN端子

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーHD20GA7/HD30GA9/HD30GB9やM1GB5/M512B5（別売）を接続します。
専用ケーブル PNC-150で接続すると、本機やリモコンで操作できます。
（「操作編」10ページ参照）

USBモード
ストレージ
プレーヤー

※USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。

USB端子

ケンウッド製デジタルメモリオーディオプレーヤーM2GC7/M1GC7/M512C5やUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー（別売）を接続します。

※機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。

USB端子接続のご注意

USB端子には、USBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などにつきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

PHONES端子

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

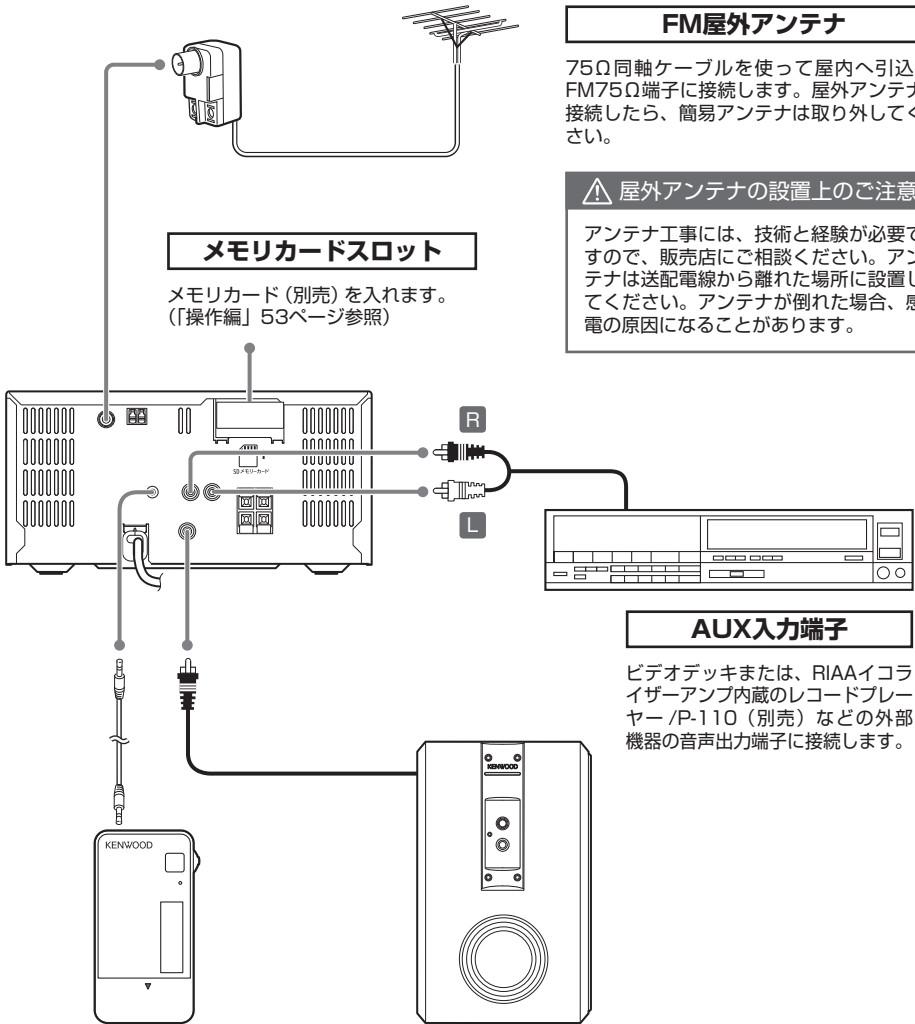
FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

メモリカードスロット

メモリカード（別売）を入れます。
（「操作編」53ページ参照）

AUX入力端子

ビデオデッキまたは、RIAAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー /P-110（別売）などの外部機器の音声出力端子に接続します。

D.AUDIO 出力（アナログ）端子

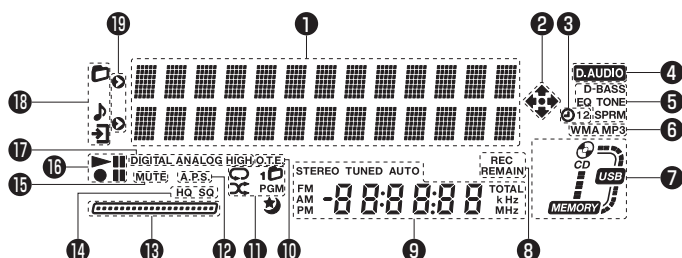
プレーヤーに付属（または市販品）の録音用ケーブルでケンウッド製ダイレクトエンコード機能付きデジタルオーディオプレーヤー M1GB5/M512B5（別売）などを接続します。D.AUDIO 出力端子からはアナログ信号が出力されます。

サブウーファープリアウト端子

SW-40HT（別売）などアンプ内蔵のサブウーファーを接続します。

各部のなまえと働き

ディスプレイ部

本文中のディスプレイ表示は、
実際の表示と異なる場合もあります。

❶ 文字情報表示

❷ 操作可能方向表示
編集中や選択中に、MULTI CONTROLキーで操作可能な方向が点灯します。

❸ タイマー表示（「操作編」46ページ参照）
タイマーをセットすると点灯します。

❹ D.AUDIO表示
専用ケーブル PNC-150でデジタルオーディオプレーヤーが接続されると点灯します。

❺ 音質設定表示（「操作編」18ページ参照）
各音質設定を有効にすると点灯します。

❻ 曲ファイル種類表示
再生している曲ファイルの種類（圧縮形式）によって点灯します。

❼ 音源動作表示
挿入（接続）された音源や録音状態が、点灯または点滅します。

❽ REC REMAIN表示（「操作編」54ページ参照）
録音残量時間表示中に点灯します。

❾ TUNER、時間関連表示
（「操作編」20、54ページ参照）

❿ O.T.E.（ワンタッチエディット録音）表示
（「操作編」26 ～ 29ページ参照）
ワンタッチエディット録音中に点灯します。

⓫ モード関連表示（「操作編」6 ～ 15ページ参照）
切り換えたモードによって点灯します。
1 ：リピート再生モード時点灯
：ランダム再生モード時点灯
：フォルダモード時
PGM ：プログラムモード時点灯

⓬ A.P.S.（オートパワーセーブ）表示
（「操作編」68ページ参照）

⓭ 録音進行表示
録音の進行状況を表示します。

⓮ 録音モード関連表示（「操作編」56ページ参照）
USBオーディオプレーヤー、メモリカードの録音モードを表示します。

⓯ MUTE表示（28ページ参照）
ミュート（消音）中に点灯します。

⓰ 再生・録音一時停止表示

⓱ 録音設定表示（「操作編」57ページ参照）
録音スピード、録音入力の設定によって点灯します。

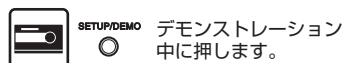
⓲ ：SETUPまたはTOOL操作中に点灯します。
：USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのフォルダを選んでいる場合に点灯します。
♪ ：USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードの曲ファイルを選んでいる場合に点灯します。

⓳ 選択カーソル
選んでいる文字情報を示します。

デモンストレーション機能について

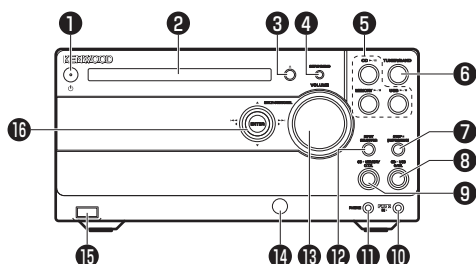
本機にはデモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが音は変わりません。

● 解除する（デモンストレーション機能OFF）

デモンストレーション中に押します。

● 実行する（デモンストレーション機能ON）

電源がONのときに2秒以上押します。

※電源がONのとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、デモンストレーション機能は自動的にONになります。

本体部

❶ 電源キー（29ページ参照）

電源のON/OFF（スタンバイ状態）を切り換えます。

スタンバイ・タイマーインジケーター

電源がスタンバイ状態になると点灯します。
赤色：通常のスタンバイ状態
橙色：タイマースタンバイ状態

❷ CDトレイ（29ページ参照）

CDを入れます。

❸ CD 開閉キー（29ページ参照）

CDトレイを開閉します。

❹ SET UP/DEMOキー

本機の各種設定をするときに使います。
（「操作編」42ページ～参照）
デモンストレーション機能をON/OFFします。
（16ページ参照）

❺ 再生/一時停止キー（「操作編」6ページ～参照）

各音源に切り換え、再生、一時停止します。

❻ TUNER/BANDキー

音源をラジオに切り換えます。放送バンドを切り換えます。（「操作編」20ページ参照）

❼ STOP[AUTO/MONO]キー

再生、録音を停止します。（「操作編」6ページ～参照）
各種設定を途中で中止します。
TUNER選択時はオート選局とマニュアル選局を切り換えます。（「操作編」21ページ参照）
スタンバイ状態時は時刻を5秒間表示します。
（「操作編」69ページ参照）

❽ CD▶USB O.T.E.キー（「操作編」26ページ参照）

CDをワンタッチエディット録音します。

❾ CD▶MEMORY O.T.E.キー（「操作編」28ページ参照）

CDをワンタッチエディット録音します。

❿ D.AUDIO IN端子（「操作編」10ページ参照）

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを専用ケーブル PNC-150 で接続します。

⓫ ヘッドホン端子（14ページ参照）

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

⓬ INPUT SELECTORキー（「操作編」9 ～ 11ページ参照）

音源をD.AUDIOまたはAUXに切り換えます。

⓭ VOLUMEつまみ（28ページ参照）

音量を調節します。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

⓮ リモコン受光部（19ページ参照）

⓯ USB端子（14ページ参照）

USBオーディオプレーヤーを接続します。

⓰ MULTI CONTROLつまみ

曲や曲ファイル、放送局を選びます。
早送り、早戻しします。
項目を選択し、決定します。

スタンバイ状態について

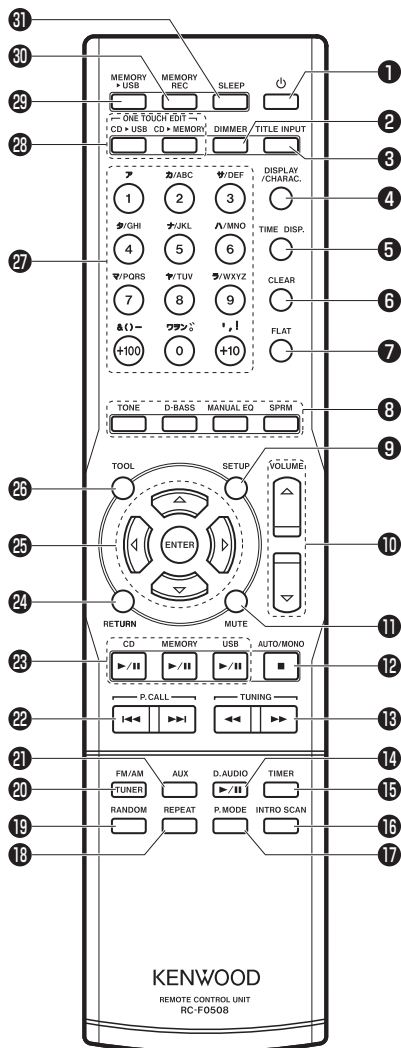
本機のスタンバイ・タイマーインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、❺内の各操作キーを押すと本機の電源がONになります。ディスクが入っているときは再生が始まります。

各部のなまえと働き

リモコンの使い方

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

❶ 電源キー（29ページ参照）
電源のON/OFF（スタンバイ状態）を切り換えます。

❷ DIMMERキー（「操作編」66ページ参照）
ディスプレイの明るさを調整します。

❸ TITLE INPUTキー（「操作編」40ページ参照）
名前を変更する場合に使います。

❹ DISPLAY/CHARAC.キー
（「操作編」38、54ページ参照）
タイトルや放送局名、時間をディスプレイに表示させます。
文字入力中、文字のグループを切り換えます。

❺ TIME DISP.キー（「操作編」54ページ参照）
時間表示を切り換えます。

❻ CLEARキー（「操作編」15、25、39ページ参照）
プログラム再生モードで選んだ曲を消します。
プリセットしてある放送局を消します。
文字入力中、文字を消します。

❼ FLATキー（「操作編」19ページ参照）
TONE、D-BASS、MANUAL EQの設定を一時的に無効にします。

❽ 音質設定キー（「操作編」18ページ参照）
TONE、D-BASS、MANUAL EQ、SUPREMEの設定をON/OFFします。

❾ SET UPキー（「操作編」42ページ～参照）
本機の各種設定をする場合に使います。

❿ VOLUMEキー（28ページ参照）
音量を調節します。上を押すと音量が上がり、下を押すと音量が下がります。

⓫ MUTEキー（28ページ参照）
一時的に消音します。

⓬ STOP[AUTO/MONO]キー
再生、録音を停止します。（「操作編」6ページ～参照）
各種設定を途中で中止します。
TUNER選択時はオート選局とマニュアル選局を切り換えます。（「操作編」21ページ参照）
スタンバイ状態時は時刻を5秒間表示します。
（「操作編」69ページ参照）

⓭ TUNINGキー（「操作編」7～21ページ参照）
曲を早送り、早戻しします。
TUNER選択時は放送局を選びます。

⓮ D.AUDIO再生/一時停止キー
D.AUDIO IN端子に専用ケーブル PNC-150 でつないだケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生、一時停止します。（「操作編」10ページ参照）

⑮ TIMERキー（「操作編」46ページ参照）
タイマーのON/OFFを切り換えます。

⑯ INTRO SCANキー（「操作編」16ページ参照）
全曲、または選んだフォルダ内をイントロスキャンします。

⑰ P.MODEキー（「操作編」6、14、16ページ参照）
再生モード（全曲再生モード、フォルダ再生モード、プログラム再生モード）を切り換えます。

⑱ REPEATキー（「操作編」13ページ参照）
繰り返し再生します。

⑲ RANDOMキー（「操作編」12ページ参照）
順不同に再生します。

⑳ TUNER[FM/AM]キー（「操作編」20ページ参照）
音源をFM、AMに切り換えます。

㉑ AUXキー（「操作編」9ページ参照）
音源をAUXに切り換えます。

㉒ P.CALLキー（「操作編」7～20ページ参照）
曲を飛ばします。TUNER選択時は放送局を選びます。

㉓ 再生/一時停止キー（「操作編」6ページ～参照）
各音源に切り換え、再生、一時停止します。

㉔ RETURNキー
設定中や編集中に押すと、ひとつ前の項目、またはもとの表示に戻ります。

㉕ MULTI CONTROLキー
曲や曲ファイル、放送局を選びます。
早送り、早戻しします。
項目を選択し、決定します。

㉖ TOOLキー
各種編集をする場合に使います。

㉗ 数字キー /文字入力キー
曲、放送局を選びます。（「操作編」7ページ～参照）
文字入力します。（「操作編」38ページ参照）

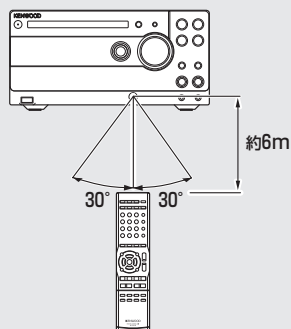
㉘ O.T.E.キー（「操作編」26～29ページ参照）
CDをワンタッチエディット録音します。

㉙ MEMORY ▶ USBキー
（「操作編」30ページ参照）
メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ曲ファイルを転送します。（ワンタッチエディット転送）

㉚ MEMORY RECキー
メモリカードに録音します。
（「操作編」32～35ページ参照）

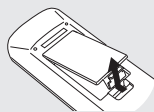
㉛ SLEEPキー（「操作編」47ページ参照）
おやすみタイマーを設定します。

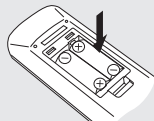
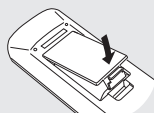
操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源キーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

リモコンの電池の入れ方

電池が切れたときは市販の単4形電池を使用します。

① 電池カバーを外します。

② 新しい単4形電池と交換します。

※電池の極性に注意して入れてください。

③ 電池カバーを閉じます。

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		本書でのマーク	説　明
USB	ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー USBマスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー		● USB端子には、USBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。使用可能なUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの情報は当社ホームページをご覧ください。http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/
メモリカード	SDメモリカード miniSD™カード		● 32MB ～ 2GBのSDメモリカードが使用できます。転送速度5MB以上のメモリカードを推奨します。使用可能なメモリカードの情報は当社ホームページをご覧ください。http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/ ● SDHC（4GB以上）は使えません。 ● マルチメディアカード（MMC）は使えません。 ● miniSD™カードは専用アダプターが必要です。
CD	市販の音楽CD CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW		● コピーコントロール付きCDなど、CD規格外ディスクの再生は保証しておりません。 ● CD-DAのフォーマットで記録し、記録終了時にファイナライズしたCD-RとCD-RWが再生できます。 ● CD-R/RWディスクを録音した機器や録音状態、また使用しているCD-R/RWの種類によっては本機で再生できない場合があります。

SDロゴは商標です。

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

USB機器およびメモリカード（SDカード）の取り扱い

取り扱い上のお願い

必ず各機器およびメモリカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機にUSB機器、メモリカードは付属していません。別途、市販品を購入してください。（10ページ参照）

本機はUSB2.0（Full speed）対応です。

USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。

USB機器およびメモリカードの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害については、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

再生について

本機で再生できるのはMP3およびWMA形式です。
SDオーディオフォーマットで録音されたデータは再生できません。

MP3：ビットレート…………32 ～ 320kbps
サンプリング周波数…8 ～ 48kHz

WMA：ビットレート…………64～384kbps（WMA9準拠）
サンプリング周波数…8 ～ 48kHz

録音・編集について

本機からUSB機器およびメモリカードへの録音フォーマットはWMA形式を採用しております。

■大切なデータを保護するために...

録音や編集を行っているときは、本機やUSB機器を振動させたり、USB機器を取り外したり、メモリカードを取り出したり、電源コードを抜いたりしないでください。USB機器やメモリカードのデータが破損し、USB機器やメモリカード自体が使えなくなることがあります。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。
  使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売メーカーにお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用すると、曲ファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも種類や状態によっては正常に再生できない場合があります。

USB機器およびメモリカードの記録可能目安

録音モード / メモリ容量	HQ（192 kbps）	SQ（128 kbps）
32 MB	約20分	約30分
64 MB	約40分	約1時間
128 MB	約1時間20分	約2時間
256 MB	約2時間40分	約4時間
512 MB	約5時間20分	約8時間
1 GB	約10時間40分	約16時間
2 GB	約21時間20分	約32時間

※録音モードについては「操作編」56ページ参照。

知っておいていただきたいこと

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

再生面にふれないように持ってください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったディスクをご使用ください。

このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

メモリバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は約1日間保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- 入力切り換え
- 音量の設定
- バランスの設定
- インプットレベルの設定
- D-BASS、MANUAL EQ、SPRM機能の設定
- タイマーの設定内容
- DIMMER設定
- オートパワーセーブの設定

チューナー関係

- プリセット放送局
- 選局方法の設定（オート、マニュアル選局）
- 受信バンド
- 周波数

録音設定関係

- 録音モード
- 録音スピード
- オートマーク設定
- TEXT COPYの設定
- 録音レベルの設定
- トラックマークの設定

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または、移動する場合は下記の操作を行ってください。

① USBオーディオプレーヤーを外します。メモリカード、CDを取り出します。

② メモリカード、CDそれぞれの再生/一時停止キーを押し、[カード ガ アリマセン]、[NO DISC]がディスプレイに表示されるのを確認します。

③ 数秒間待ち、電源をOFFにします。

④ その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

録音の前に…

録音できる音源、録音できない音源

録音もと＼録音先	USBオーディオプレーヤーに録音	メモリカードに録音	D.AUDIO 出力端子に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー
USBオーディオプレーヤー	—	×	○
メモリカード	◎※1	—	○
CD	◎/○※2	◎/○※2	○
D.AUDIO IN端子に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー	×	○	—
ラジオ	×	○	○
外部機器（AUX接続）	×	○	○

◎：デジタル録音です。　○：アナログ録音となり、録音速度も等速に限ります。　×：録音できません。
※1 メモリカードからUSBオーディオプレーヤへの録音は、曲ファイルの転送となります。
※2 CDからUSBオーディオプレーヤー、メモリーカード、MDに録音するときは、デジタルまたはアナログ録音を設定できます。

USBオーディオプレーヤーやメモリカードに録音するときは

フォルダと曲ファイル

曲を録音するときは、毎回KWDフォルダ内に自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダ内に曲ファイルが記録されていきます。作成されたフォルダや曲ファイルには自動的に番号が付けられます。
詳しくは24ページ参照。

本機で扱えるフォルダと曲ファイルの数

■ 作成できるフォルダは最大200です

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード内のフォルダ数が200を越えて録音することはできません。

■ 録音できる曲ファイル数は、収録時間内で最大1000曲までです

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードに録音時間が残っている場合でも、1000曲以上は録音できません。

著作権について

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先：
社団法人私的録音補償金管理協会（sarah）

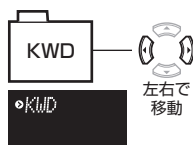
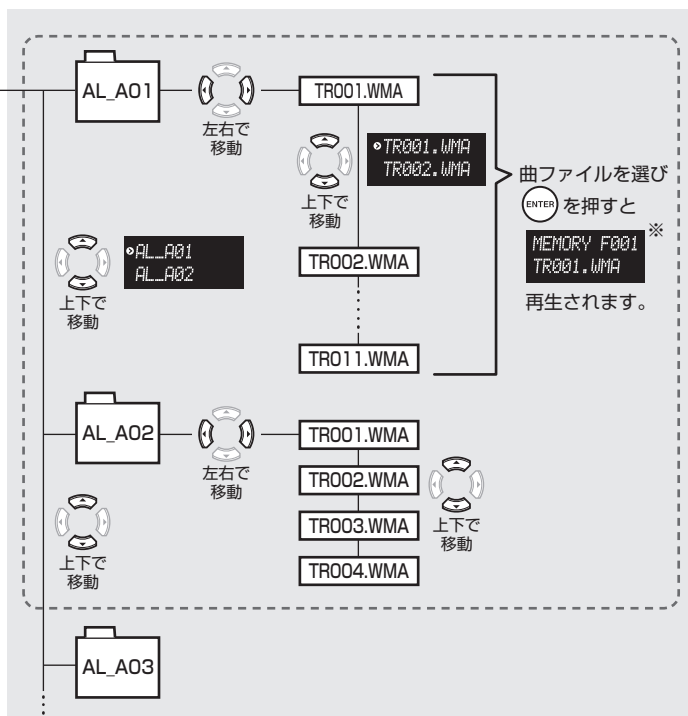
東京都千代田区麹町1-8-14麹町YKビル2F
電話（03）3261-3444

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

フォルダと曲ファイルについて

本機では、USBオーディオプレーヤーおよびメモリカードに録音された曲を**「曲ファイル」**という名称で扱います。
これら曲ファイルは**「フォルダ」**という名称の入れものの中に入ります。
フォルダは、USBオーディオプレーヤーおよびメモリカードに録音するごとに自動的に作成され、その中に録音された曲ファイルが入ります。

USBオーディオプレーヤーおよびメモリカード内の様子

操作中、フォルダや曲ファイルを選ぶときは下記の図を参考にMULTI CONTROLキーで選んでください。
（本体のMULTI CONTROLつまみでも選ぶことができます。）

※FXXXは曲ファイルの順番を表します。フォルダの並び順や曲ファイルの並び順によって自動的に番号で管理しています。リモコンの数字キーを押して好きな曲ファイルから聞くことができます。（「操作編」7ページ参照）

MEMORY F007
TR001.WMA

例）F007なら 7
F102なら +100、2

録音された曲ファイル、それを入れておくフォルダには、
自動的に番号が付けられます。これらの番号は後から変更できます。

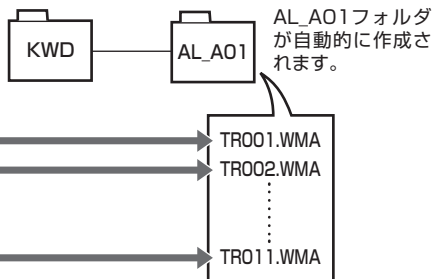
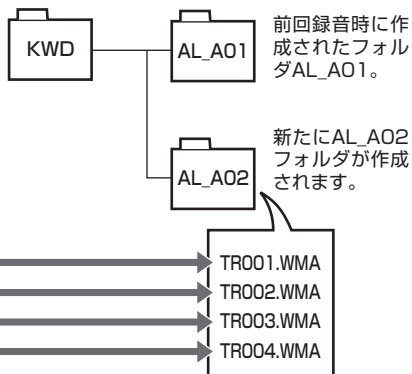
- フォルダへ自動的に付けられる番号：AL_A01…AL_A99…
…AL_Z99
- 曲ファイルへ自動的に付けられる番号：TR001.WMA、
TR002.WMA……

本機からUSB機器およびメモリカードへの録音フォーマットは
WMA形式を採用しております。

KWDフォルダで扱うことができるフォルダと曲ファイルの数は

フォルダ…………	200
曲ファイル………	1000

フォルダと曲ファイルの残量を知りたい場合は「操作編」51ページ参照。

本機でUSBオーディオプレーヤーまたはメモリカードに録音した場合

本書（操作編）の見方

操作の対象になる音源です。

USB端子に接続したUSBオーディオプレーヤーです。

本体に挿入したメモリカードです。

CDです。

D.AUDIO IN端子に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーです。

ラジオです。

AUX入力端子に接続した外部機器です。

操作する前にしておく「準備」です。

※準備をしておかないと正しく操作できない場合があります。

※各機器の接続、メモリカードやCDの挿入は「準備」に表記していません。詳しくは「接続のしかた」12ページ～、「基本的な使い方」28ページをご覧ください。

※下記のリモコン/本体のイラストの代わりに、準備の具体的な手順を表記しているページもあります。

リモコンで操作する場合に使うキーです。

※表記していないページもあります。

本体で操作する場合に使うキーです。

※表記していないページもあります。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

メモリカードのみ

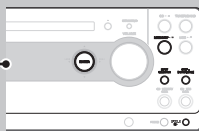
準備

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。（「お使いになる前に編」14ページ参照）

メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには

1 音源をD.AUDIOに切り換える

D.AUDIO ►/II

2 録音の準備をする

❶ D.AUDIO ►/II 再生を一時停止します。

❷ 録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する

MEMORY REC

録音一時停止（待機）状態になります。

MEMORY (REC)
MEMORY CARD ヲ

※[MEMORY CARD ヲヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

■停止するには

■一時停止するには

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

32

関連機能 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く P10 曲を消す P36

操作手順です。

リモコンによる操作手順です。リモコンのキーを押してください。

本体による操作手順です。本体のキーを押してください。

※ が両方表記されている操作手順は、リモコン、本体のどちらでも操作できます。

操作中または操作後のディスプレイ表示です。

本文で、ディスプレイに表示される文字情報と同じ文字を表記する場合は、[　　] と表記しています。

TITLE INPUT
INTRO SCAN

例) [INTRO SCAN] を選ぶ

※この取扱説明書のディスプレイ表示は操作説明のために作成したものです。実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

4 録音を始める

MEMORY REC

再度MEMORY RECキーを押し、録音を開始します。

MEMORY Tr001
MEMORY CARD ヲ

※[MEMORY CARD ヲ ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

5 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生する

D.AUDIO ►/II

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生させます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

■録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはCDを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。

ENTER 区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は59ページ参照。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は

録音レベルを調整してください。(58ページ参照)

録音する

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

操作についての補足説明です。

Hint メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■録音が終了すると

D.AUDIO
DATA WRITING

メモリカードが停止して、[DATA WRITING] と表示されます。

※ [DATA WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [DATA WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモリカードがいっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウカ゛アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン] と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

上記操作に関連した項目や操作です。

リフレッシュ機能でフォルダを整理する P52	曲をもっと録り貯めるには(メモリカードの交換) P53	ディスプレイ表示切り換え P54	録音の設定をする P56~P61

33

さらに便利に使うための関連機能です。

基本的な使い方

準備

適切な場所に本機を設置してください。（11ページ参照）

接続を確認してください。（12 ～ 15ページ参照）

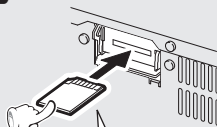
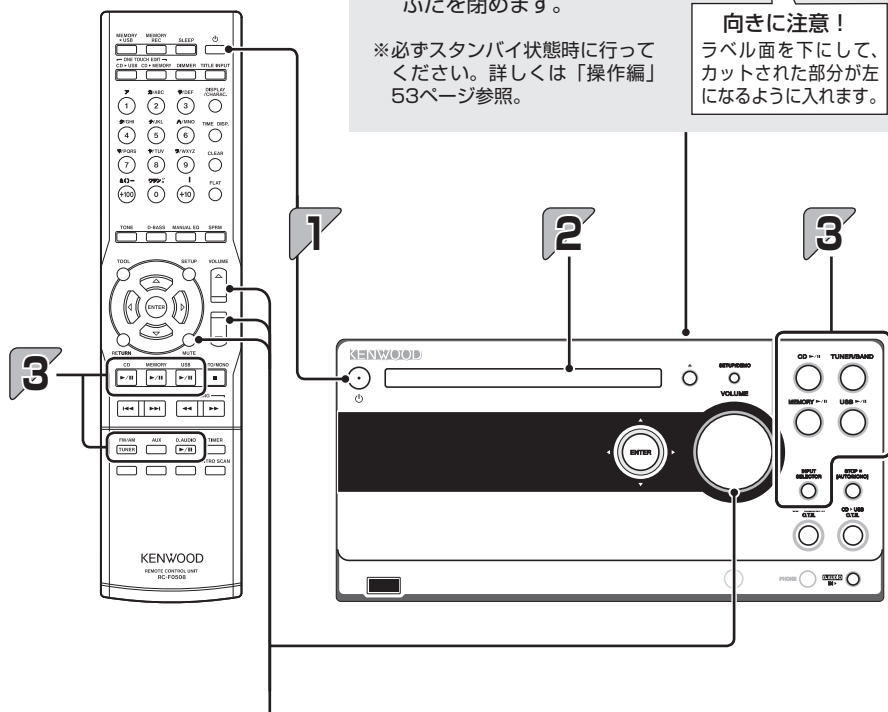
リモコンを準備してください。（19ページ参照）

メモリカードの入れ方

❶ メモリカードスロットの下端部を押してふたを開けます。

❷ メモリカードを入れます。

❸ メモリカードスロットのふたを閉めます。

※必ずスタンバイ状態時に行ってください。詳しくは「操作編」53ページ参照。

向きに注意！
ラベル面を下にして、カットされた部分が左になるように入れます。

音量を調整する

0 ～ 40（最大）の間で調整できます。

※つまみを速く回す（本体）、またはキーを押し続ける（リモコン）と音量が早く切り換わります。

一時的に消音する（ミュート）

MUTE

■ ミュート解除するには

もう一度MUTEキーを押す。（もとの音量に戻ります）

音量の調整をする。

1 電源をONにする（OFFにする）

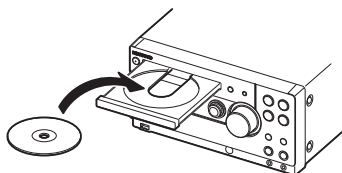
※各音源の再生/一時停止キーを押しても、電源がONになります。（ワンタッチオペレーション機能、17ページ参照）

※電源がONのときに電源キーを押すとOFF（スタンバイ状態）になります。

2 ディスクを入れる

❶ トレイを開けます。

CD 開閉キーを押します。

❷ CDを入れます。

CDはラベル面を上にして入れます。

❸ トレイを閉めます。

3 再生する

各音源の再生/一時停止キーを押します。

※詳しくは「操作編」の各音源ごとの再生ページをご覧ください。

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない

- ● 直射日光の当たる場所。
- ● 湿気やほこりの多い場所。
- ● 暖房器具の熱が直接当たる場所。

■ 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

■ 汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー､ベンジン､アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

CDディスクの保管とお手入れ

■ 保管するときは

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

■ 汚れたら

- ● ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
- ● レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
- ● ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使わないでください。

■ その他お守りしていただきたいこと

- ● 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- ● シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- ● 紙やシール、ラベルを貼らないでください。

USB機器の保管とお手入れ

必ず各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

SDカードの保管とお手入れ

■ 保管するときは

- ● 必ずケースに収納して保管してください。
- ● 極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

■ 汚れたら

- ● やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- ● シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

■ その他お守りしていただきたいこと

- ● 分解や改造をしないでください。
- ● 貼られているラベルをはがさないでください。
- ● 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- ● 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

■ メモリカードを破棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、メモリカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、メモリカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

保障とアフターサービス

よくお読みください

保証書（別途）

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。（お問い合わせ先は､「ケンウッド全国サービス網」32ページ参照）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

■ 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

■ 出張修理／持込修理

「出張修理」､「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

■ 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費､技術教育費､測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

使いかたや製品に対するお問合せは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りの
ケンウッドサービス窓口にお申しつけください。
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください) **2006年9月現在**

北海道

札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和1F)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311

関東・信越

さいたまサービスセンター	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2(JA 共済埼玉ビル1F)	☎(048) 647-6818
千葉サービスステーション	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
東京サービスステーション	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736

中部・甲州

名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045

近畿・四国

大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2101	浦添市西原4-36-17	☎(098) 874-9010

● ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内：
午前10 時から午後6 時まで
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター
ナビダイヤル　☎ (0570) 010-114（一般電話・公衆電話からは、
どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP 電話からのご利用は　☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553
〒 226-8525　横浜市緑区白山1-16-2

● カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内：
月曜～金曜　午前9 時30 分から午後6 時
土曜　午前9 時30 分から午後12 時、午後1 時から午後5 時30 分
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

定 格

本体部（RD-UDA55）

[アンプ部]

実用最大出力………………20 W + 20 W（JEITA 6 Ω）
全高調波歪率……………………………………… 0.025%
（1 kHz、10 W、6 Ω、30 kHz LPF時）
D-BASS (+10) ………… +9.0 dB (60 Hz、Vol. 30)
入力端子（感度／インピーダンス）
LINE (AUX)
……………350 mV / 22 kΩ (INPUT LEVEL最大時)
LINE (D. AUDIO)
……………350 mV / 10 kΩ (INPUT LEVEL最大時)
出力端子（レベル／インピーダンス）
PRE OUT (D. AUDIO)………… 900 mV / 10 kΩ (HIGH)
………………………………… 550 mV / 10 kΩ (LOW)
SUB WOOFER PREOUT ………… 1.6 V / 10 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲…………………… 76 MHz ～ 90 MHz
アンテナインピーダンス…………………… 75 Ω不均衡
AMチューナー部
受信周波数範囲……………… 531 kHz ～ 1,629 kHz

[USB部]

対応USB機器 ……………USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス…………USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルフォーマット………………FAT 12/16/32
録音フォーマット／形式
WMA SQ ………… 128 kbps/44.1 kHz STEREO
HQ ………… 192 kbps/44.1 kHz STEREO
再生フォーマット／形式
MP3 サンプリング周波数 ……………… 8～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR *) ……… 32～320 kbps
WMA（WMA9準拠、DRM非対応） ……………………
サンプリング周波数 ……………… 8～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR *) ……… 64～384 kbps
ID3タグ ……………………………………………………非対応
最大フォルダ数……………………………… 200フォルダ
最大フォルダ階層数……………………………… 10階層
最大ファイル数………………………………1000ファイル
供給電流……………………………………… 最大500 mA

[メモリカード部]

対応メモリカード
……………………SDメモリカード、miniSD™カード
対応容量…………………………………… 32 MB～2 GB
対応ファイルフォーマット………………FAT 12/16/32
録音フォーマット／形式
WMA SQ ………… 128 kbps/44.1 kHz STEREO
HQ ………… 192 kbps/44.1 kHz STEREO
再生フォーマット／形式
MP3 サンプリング周波数 ……………… 8～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR *) ……… 32～320 kbps
WMA（WMA9準拠、DRM非対応）
サンプリング周波数 ……………… 8～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR *) ……… 64～384 kbps
ID3タグ ……………………………………………………非対応
最大フォルダ数……………………………… 200フォルダ
最大フォルダ階層数……………………………… 10階層
最大ファイル数………………………………1000ファイル

* VBRのオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

[CDプレーヤー部]

読み取り方式…………………………非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ………………………………1 ビット
オーバーサンプリング………………… 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) ………………… 20 Hz ～ 20 kHz
ワウ・フラッター (JEITA) …………………測定限界以下

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数……… AC 100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）……… 60 W
待機時消費電力……………………………………0.2 W以下
最大外形寸法…………………………………… 幅 240 mm
高さ 121.5 mm
奥行 361 mm
質量（重量）……………………………………5.3 kg(正味)

スピーカー部（LS-UDA77）

エンクロージャー………………………………バスレフ方式
スピーカー構成
ウーファー………………………… 100 mm コーン型
ツイーター…………………25 mm バランスドーム型
インピーダンス…………………………………………6 Ω
最大入力……………………………………………… 20 W
最大外形寸法…………………………………… 幅 140 mm
高さ 260 mm
奥行 209 mm
質量（重量）…………………………………… 2.2 kg(1本)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3